

# 《郷土学習 安居の里を守る会①》

## 1. ねらい

大人と小学生による「安居っ子ホタルレンジャー」が共に学習し活動する機会を設けることで、地域住民が地区内の希少な生きものや植物に目を向け、保全活動を通じて郷土愛を育むことをねらいとする。

平成25年度はビオトープに関する作業を中心に、ホタル発生調査、マップ作成、その他の生きものや植物調査も積極的に行う。

## 2. 対象者

安居の里を守る会 成人

安居っ子ホタルレンジャー 小学生

## 3. 開催日等

例会：毎月第4火曜日 19:30~21:00

ホタル成虫発生調査：5月20日から6月20日頃

その他、ホタルレンジャーの指導、引率などや他団体との合同学習の実施



安居の里を守る会

## 「活動発表がんばってます。」



三方五湖自然再生フォーラムで  
ポスターセッションに参加  
平成24年8月25日 三方青年の家にて



流域環境の保全と再生に関するシンポジウムで活動発表しました。  
平成25年3月10日 国際交流会館にて



環境ふくい推進協議会総会の席上で重森会長が活動発表しました。  
平成25年4月26日 国際交流会館にて

## 「安居・東安居合同ホタル学習会」 平成25年6月15日



東安居地区との合同ホタル学習会は、平成13年度から毎年実施しています。当時は小学生だった子ども、今やりっぱに成人し、シニアリーダーとして大活躍です。このホタル学習会は、彼らの実践の場でもあります。

安居のホタル、東安居の菜の花はそれぞれ地域づくりのシンボルです。小学生、ジュニアリーダー、シニアリーダーが両地区に流れる足羽川、日野川、未更毛川や下市山、大芝山を配置し、学校や店舗などを空き箱や折り紙を使って作りました。



個性豊かなホタルと菜の花がいっぱい！



## 「ミズアオイ保存合同学習会」

安居壮年会と合同でミズアオイの保全に関する学習会を開催しました。環境省ではレッドリスト、福井県ではレッドデータブック節減危惧Ⅰ類に分類されています。安居の自生種の保存について検討しました。



夕食はえぶろん安居の皆さんが作ってくれたあぶらげめしです。毎年、これを楽しみにしている子もいます



ホタルの生活史を理解すると、環境が大切であることに気づく。

観察会后、駐車場で閉会式を行いました。



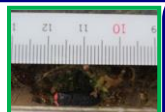
## 「安居中学校ホタル観察会」 平成25年6月13日



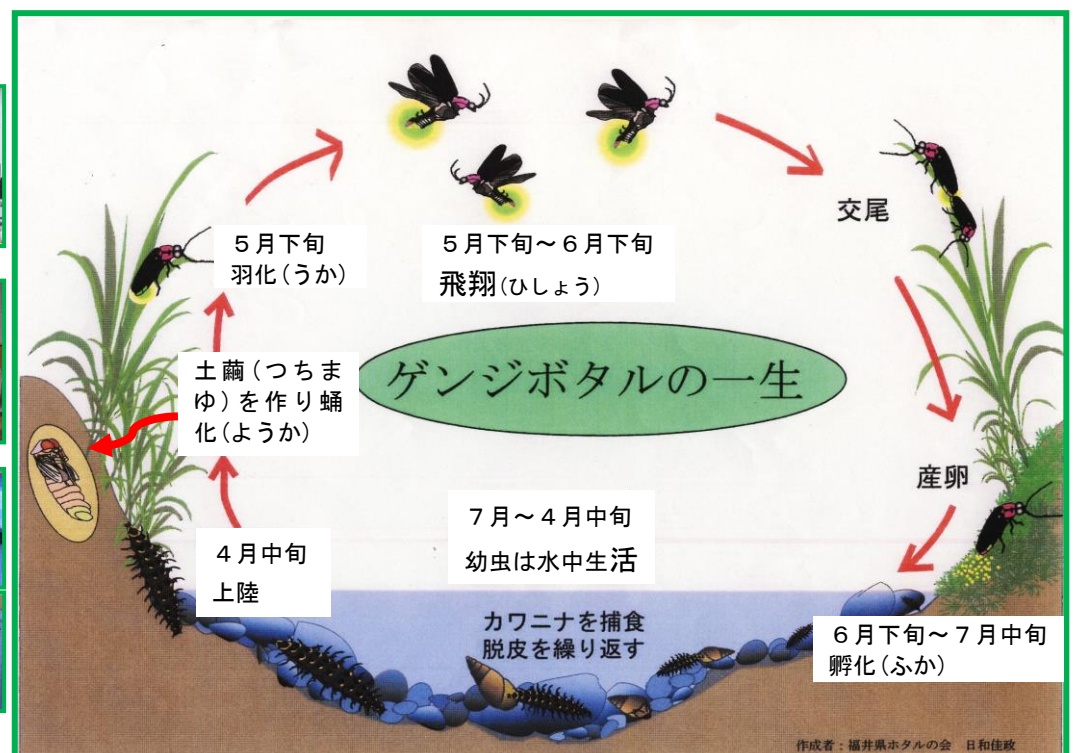
中学生のみなさんによる自主企画と聞いて、里を守る会は感激していました。協力体制はバッチリです。でも、大勢で押し掛けてごめんなさい。



6月8日に本堂の休耕田で捕まえたゲンジボタルのメスが産卵しました。黄色くて丸いのが卵です。(下中央の写真は産卵中のメス、前胸部が赤く、十字型の黒い模が特徴)



メスの発光器は2本



# 《郷土学習 安居の里を守る会②》

## 「ビオトープ基礎工事」

平成 24 年 11 月 3・4 日

平成 24 年 11 月にビオトープの基礎工事を行いました。この時は、まだ名前が決まっていなかった。



## 「堆肥場の設置」

平成 25 年 5 月 16 日

田んぼにコシヒカリを植えました。また、刈った草を集めて堆肥にするための木枠も造りました。下の写真は、稲刈り後「はさがけ」に利用した様子です。



## 「生きもの調べ」

平成 25 年 6 月 8 日

羽坂のミズアオイ田んぼで捕まえた生き物を、ビオトープに放しました。



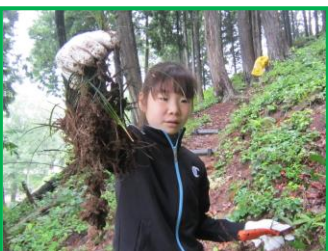
## 「ビオトープに植える植物を採りに行こう！」

平成 25 年 6 月 22 日

ビオトープの名前は、この日みんなで話し合った結果“友だちいっぱいビオトープ”に決まりました。



山に詳しい地域の人たちが協力して下さいました。ありがとうございました。



ミズアオイ池を通して流れてくる水路には、メダカが泳いでいます。



ビオトープ管理士の白澤さんに教わり、数種類の植物を持ち帰ってビオトープに植えました。山や田んぼ、池など、安居の自然を再現することが大事です。



活動記録を書いています。今日は書くことがいっぱい、でもがんばる～



5月に植えた稲が随分大きくなりました。ビックリ！

## 「ゲンジボタルの幼虫飼育開始！」 「第3回ホタル環境サミットに参加！」

平成 25 年 7 月 21 日 福井工業大学にて

卵から孵って1週間ぐらいのゲンジボタルの幼虫を、飼育ケースに入れました。

平成 25 年 7 月 13 日



安居の里を守る会とホタルレンジャーの活動を発表しました。緊張しましたが、良い経験になりました。



発表は勝山市北郷小、越前市坂口小、鯖江市河田小、特別発表として大野市出身の信州大生が参加しました。



安居の里を守る会のメンバーが引率してくれました。お母さんやおばあちゃんも応援に来てくれて、うれしかったです。いつも協力してくれてありがとう。感謝しています。

# 《郷土学習 安居の里を守る会③》

## 「未更毛川の生きものと水質調査」

平成 25 年 8 月 17 日



本堂「向田橋」の北詰から川に下ります。里を守る会が子ども達のために、事前に草刈りを行い、足場を造ってくれるので、とても助かります。

足を広げると 20cm位のモクズガニを 2 匹捕まえました。海と川を行ったり来たりして成長します。食べる事もできます。



気温 34℃と非常に暑い日でしたが、水温 22.7℃の川の中はとても心地良かったです。水網の使い方に慣れている子ども達は、生きものを捕まえるたびに歓声を上げていました。



きれいなところで生育するシロタニガワカゲロウ、ウルマーシマトビゲラ、コヤマトンボ・コシボソヤンマ・オニヤンマのヤゴ見つかりました。ゲンジボタルの幼虫が食べるカワニナもたくさんいました。また、調査の数日前に雨が降ったためか、ヒル類もたくさんいましたが、川のヒルは掃除屋さんと呼ばれており、実は水質保全に役立っているそうです。ヒメゲンゴロウ、ヨコエビ類、ウグイの稚魚、ドジョウなどの魚類も見つかりました。水質はCOD 1~2で良好でした。



## 「ビオトープ田んぼの稲刈り」

平成 25 年 8 月 28 日

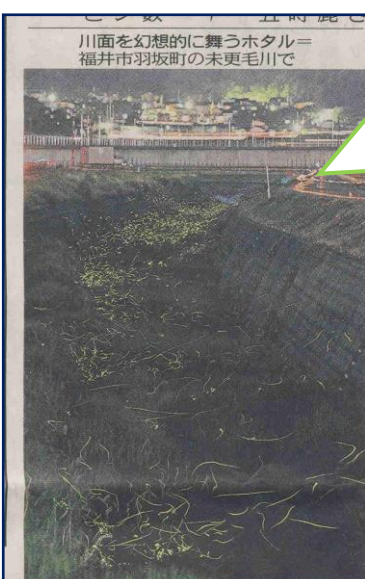


安居の里を守る会と安居壮年会の方が指導して下さいました。初めて鎌を持った子もいましたが、使い方に慣れるのが早く、泥だらけになるのも気にせず、楽しんで稲を刈っていました。



カマキリもいっしょに稲刈り？

ミズアオイも咲いています。



平成 25 年 6 月 9 日の中日新聞に掲載された記事と写真です。写真は羽坂から安居中学校に向けて撮られたものです。翌日から、「場所はどこですか」という問い合わせが殺到しました。新聞の影響力を改めて感じました。

### 幻想空間 光の舞

福井市安居地区の未更毛川一帯に、暗闇の中に多くのホタルが舞う幻想的な光景が広がっている。六月中旬ごろまで楽しめる。安居公民館によると、毎年六月上旬からホタルが飛び始めるが、今年は高温が続くなどの影響で、例年より五日ほど早く乱舞が観察されている。未更毛川は水質が良く、ホタルの数はほとんど減少していないという。多い日には、四百匹以上観察できることも。七日夜もホタルは柔らかな光を無数に点滅させていた。(北藤真美)



平成 25 年 6 月 14 日(金)の福井新聞 1 面に未更毛川に飛ぶホタルの写真と記事が掲載されました。水がテーマのシリーズです。

風の強い日が続き、なかなかホタルが飛ばなかったのですが、辛抱強く待ってくれたカメラマンに感謝します。記事も素敵で、ホタルを愛でる日本人の感性にぴったりです。今年の未更毛川は、ほぼ全域でホタルが飛び、まさに天の川のような感じでした。

この記事パネルにしたものが、安居公民館と安居中学校に掲示してあります。お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。

# 《郷土学習 安居の里を守る会④》

## 「コウノトリと中池見湿地見学！」 平成 24 年 10 月 27 日

安居の里を守る会とホタレンジャー達が、バスに乗って越前市白山地区のコウノトリ飼育場と敦賀市中池見湿地へ見学に行きました。穏やかな秋の日差しを浴びながら、たくさん学びました。



コウノトリ語り部さんから、白山とコウノトリの関わりについて話を聞きました。紙芝居やスライドで子どもにもわかりやすかったです。

人口巣塔がありました。コウノトリが飛んできてくれるといいね。

中池見湿地の保全について説明を受けました。ちょっと難しかったかな。

ドライブインで昼食です。バスに酔ってしまい、あまり食べられなかったね。残念。

飼育場には、コウノトリが2羽いました。「ふっくん」と「さっちゃん」です。



何でも平気で触る子ども達、中池見の方が驚いていました。

ザリガニ駆除の籠網を上げる体験をしました。ザリガニは繁殖力が強く、在来種を食べてしまうので、見つけたら駆除しなくてはなりません。でも、ザリガニの赤ちゃんを見つけると、「ナマズのエサになんか、できない。」と叫んでいました。可愛かったんでしょうね。

## 「ゲンジボタルの幼虫を放流！」 平成 24 年 11 月 10 日



皆川館長は、何事も率先して手伝ってくれます。ありがとうございます。

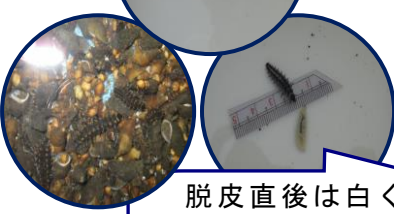


田んぼの工事をしていた人が、「何してるんやあ。」と見に来ました。説明をしたところ、「6月になったら見に来るわ。」とのことでした。



未更毛川へ下りる時は、大人の手助けが必要です。安居の里を守る会の皆さん、いつもありがとうございます。

11月に、公民館で育てていた幼虫約300匹を未更毛川に放流しました。3cmぐらいになっていました。



脱皮直後は白く、徐々に黒くなります。

羽化するの何匹？ オスかな、メスかな？



幼虫を放流するために、飼育ケースから取り出してバケツに移します。



活動記録を書きます。書くのが苦手な子ども、年々落ち着きを増し、成長していく様子が微笑ましいです。



幼虫を放流した後、本堂の向田に造成されたビオトープへ遊びに行きました。広々としていました。



造成中のビオトープに立ち寄り、みんなで遊びました。水路や池ができていてビックリしましたが、これから出来上がっていくのが楽しみです。